

2025年度 ITコース 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
日本語演習1	1年次	4	宮本	月曜日 1時限目
	通年			

概要

JLPT対策学習内容の基礎を軸に、各トピックではそれぞれの基本・初級から始まり、ステップアップを重ねていく。教科書、関連内容などをメインの題材に着目しつつ、学習の進捗状況によって、柔軟に段階とスピードの加減と調整していく。

到達目標

過去の学習してきた経験・能力を活かして、新しい文章を通じて、各場面の内容を交えて次の展開を読み解く力、基礎からの練習を養っていく。

受講要件

インプット&アウトプットの繰り返し作業が主軸の予定なので、注意力と集中力を徐々に引き上げるので、随時対応を求める。

評価方法

積極的な授業参加型の要求から、授業態度・姿勢、各試験、出席・欠席、遅刻、早退を含めた総合的な成績を加味して、最終成績を評価する。

テキスト

JLPT対策の専門的な教科書を軸に、進捗する予定である。

参考書

日本語能力試験20日で合格N2 文字・語彙・文法 改訂版

授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1	授業内容の進捗、成績の説明、第一日①	1	第五日①
2	第一日②	2	第五日②
3	第一日③	3	第五日③
4	復習小テスト	4	復習小テスト
5	第二日①	5	第六日①
6	第二日②	6	第六日②
7	第二日③	7	第六日③
8	復習小テスト	8	復習小テスト
9	第三日①	9	第七日①
10	第三日②	10	第七日②
11	第三日③	11	第七日③
12	復習小テスト	12	復習小テスト
13	第四日①	13	重要事項を含むまとめ
14	第四日②	14	総復習
15	第四日③	15	期末試験
16	復習小テスト	16	追試日
17	総合復習問題	17	
18	総復習	18	
19	期末試験	19	
20	追試日	20	

教員紹介

担当教員は、日本語教師養成講座を卒業してから、日本語教員の業務にも従事しており、授業では社会の需要に合わせたスキルアップを目指していく。

2025年度 I Tコース 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
AI基盤コーディング自動化	1 年次	4	金 守東	木・3限目
	通年			

概要

Cursor AIやCopilotなどAIツールを活用したプログラミング自動化の基礎を学び、実践的に業務効率化ツールを制作する。

到達目標

AIを使ってコードの生成や修正、簡易ツールの作成ができるようになり、自動化の概念を理解する。

受講要件

N3レベル以上

評価方法

授業態度(20%)、出席(30%)、小テスト(10%)、課題(20%)、期末試験(20%)

テキスト

パワーポイントによる説明とPDFファイルを配布による対応

参考書

無し

授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1	AIとは？日常生活との関わり	1	簡単なツールをGUI化してみよう
2	コーディング自動化とは？何が自動化できるか	2	ChatGPTでGUIコードを自動生成
3	Pythonとは？プログラミングの基礎	3	GUIアプリにメール送信機能を組み込む
4	変数・型・演算子の使い方	4	ファイル変換・圧縮ツールの自動生成
5	条件分岐（if）とループ（for, while）	5	自動化できる作業を見つけよう（事例研究）
6	関数の作り方と使い方	6	自動化フローの図式化（フローチャート）
7	ChatGPTと自然言語によるコーディング支援	7	プロジェクトテーマの選定と構想
8	GitHub Copilotの基本と活用方法	8	チーム分けと役割決定
9	AIでエラーメッセージを解釈してみよう	9	プロジェクト計画書の作成
10	プロンプトの書き方と改善のコツ	10	自動化ロジックの構造設計
11	自動生成されたコードの検証方法	11	実装①：コーディングの開始
12	ChatGPTでコードを改善・翻訳してみよう	12	実装②：ChatGPT支援による改善
13	ファイルの読み書き処理（open関数など）	13	実装③：UIの整備と動作確認
14	CSVファイルを使ったデータ処理	14	テスト・フィードバックの実施
15	スクレイピング入門（requestsとBeautifulSoup）	15	改善と最終仕上げ
16	Excel操作の自動化（openpyxl）	16	発表資料の準備（スライド・動画）
17	メール送信の自動化（smtplib）	17	最終プレゼンと発表会
18	画像リサイズ・変換の自動処理（Pillow）	18	振り返りとAI時代のスキル整理
19	tkinterによるGUIアプリ入門	19	
20	ボタン・テキストボックスの実装	20	

教員紹介

システムエンジニアとしての現場経験に始まり、30年以上にわたりユーザ企業の情報システム部門で活躍。データ分析やデータベース設計、データ移行のコンサルティングを得意とし、大規模基幹システムの開発プロデュースやディレクションにも多数従事。実務に根ざした指導を行います。

2025年度 ITコース 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
キャリアデザイン	1年次	4	村松葉子	月曜日2限 月曜日4限
	通年			

概要

ワークやグループ活動を通じて、自分・他人・社会を知る。就職活動に向けての意識を持ち準備を行う。

到達目標

- ①社会を知り、自分を知るためのヒントを学ぶ
- ②就活に必要な知識を身に付ける
- ③履歴書や面接などで効果的な自己PRができるようになる。

受講要件

評価方法

出席率30%、授業態度(課題提出含む)30%
小テスト20%、期末試験20%

テキスト

資料を配布

参考書

授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1	4/7 ガイダンス(就活スケジュール/自己紹介)	1	9/29 業界研究・企業研究①
2	4/14 コミュニケーション・就職アンケート	2	10/6 業界研究・企業研究②
3	4/21 働くとは？仕事とは？(スーツデー)	3	10/20 業界・企業で求められる人材
4	4/28 ビザについて	4	10/27 志望動機①
5	5/12 今までの自分のふりかえり	5	11/10 志望動機②
6	5/19 履歴書	6	11/17 志望動機③
7	5/26 お金について	7	12/1 就活の身だしなみ(外部講師)
8	6/2 自己理解 私はどんな人？	8	1/8 説明会の心得
9	6/9 自己分析①	9	1/15 予備日
10	6/16 自己分析②	10	1/22 面接準備①
11	6/23 自己分析③	11	1/5 面接準備②
12	6/30 自己分析④	12	1/19 面接練習③
13	7/7 自己PR作成	13	1/26 【試験】面接(スーツデー)
14	7/14 自己PR作成&発表(スーツデー)	14	1/9 仕事の探し方
15	7/28 面接準備基礎①	15	1/16 OG OB就活報告会
16	8/4 面接準備基礎②	16	3/2 追試
17	8/25 面接準備基礎練習	17	
18	9/1 【試験】面接基礎(自己PR含む)(スーツデー)	18	
19	9/8 社会で求められる人材	19	
20	9/22追試	20	

教員紹介

国家資格キャリアコンサルタントを保持。
日本語学校での就職担当を経験に、学生のキャリア構築指導を得意としている日本語教師です。大学でも日本語教師として活躍中。

2025年度 ITコース 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
日本語演習2	1年次	4	山口(美)	火曜1限
	通年			

概要

JLPT合格に必要な基礎知識(文法・読解)に関し、正しい文法知識と試験読解に必要な読み方及び読むコツを学ぶ。授業毎のデクテーションや小テスト等により、レベルの自己点検をしながら自律学習につなげる。

到達目標

文法・読解の項目において、これまでに得た知識を活用しながら、確かで応用できる力を身に付け、N2合格レベルを目指す。

受講要件

N2合格に必要な基礎レベルが身につけている学習者

評価方法

出席率、平常点(小テスト、授業毎のテスト、小テスト、授業内活動、提出物、態度含)、定期試験により総合的に評価

テキスト

1回で合格！ 日本語能力試験N2 文法／読解

参考書

適宜プリント、演習問題

授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1	【文法】1章－2文の最後で使われる表現① 【読解】1章－2接続語①	1	【文法】2章－2時制①／【読解】3章－2グラフを含む文章②
2	【文法】1章－2文の最後で使われる表現② 【読解】1章－2接続語②	2	【文法】2章－2時制②／【読解】3章－2グラフを含む文章③
3	【文法】1章－2文の最後で使われる表現③ 【読解】1章－4言い換えに注意①	3	【文法】2章－4条件①／【読解】3章－2グラフを含む文章③
4	【文法】1章－2文の最後で使われる表現④ 【読解】1章－4言い換えに注意②	4	【文法】2章－4条件②／【読解】3章－4電子メール①
5	【文法】1章－2文の最後で使われる表現⑤ 【読解】1章－6理由を確認する①	5	【文法】2章－4条件②／【読解】3章－4電子メール①
6	【文法】1章－2文の最後で使われる表現⑥ 【読解】1章－6理由を確認する②	6	確認テスト及び進度調整
7	確認テスト及び進度調整	7	【文法】2章－6受身・使役① 【読解】3章－6取り扱い説明書等①
8	【文法】1章－4助動詞・助詞を使う① 【読解】1章－8二つの文を比較①	8	【文法】2章－6受身・使役② 【読解】3章－6取り扱い説明書等②
9	【文法】1章－5助動詞・助詞を使う② 【読解】1章－8二つの文を比較①	9	【文法】2章－8移動経路を示すV① 【読解】3章－8随筆・エッセイ①
10	【文法】1章－6助動詞・助詞を使う③ 【読解】2章－2概要を押さえる①	10	【文法】2章－8移動経路を示すV② 【読解】3章－8随筆・エッセイ②
11	【文法】1章－7助動詞・助詞を使う④ 【読解】2章－2概要を押さえる②	11	【文法】2章－8移動経路を示すV③ 【読解】3章－8随筆・エッセイ③
12	【文法】1章－8助動詞・助詞を使う⑤ 【読解】2章－4全体内容①	12	【文法】演習／【読解】3章－10評論①
13	【文法】1章－8助動詞・助詞を使う⑥ 【読解】2章－4全体内容②	13	【文法】演習／【読解】3章－11評論②
14	【文法】1章－8助動詞・助詞を使う⑦ 【読解】3章－2グラフを含む文章①	14	【文法】演習／【読解】3章－12評論③
15	確認テスト	15	確認テスト
16	進度調整と前期まとめ	16	進度調整と後期まとめ
17	前期試験	17	後期試験

教員紹介

前職は英語医学論文誌編集職、都内高等教育機関、企業(うち2年は海外大学で教鞭を執り、14年のうち並行して6年超の日本語教師養成講座講師経験あり)、多国籍、様々な学生、ビギナーから超上級、総合日本語からビジネス日本語まで、あらゆる方面で業務に従事。関連資格では英語教員資格保持。日本語教員必須資格(4大卒＋420時間修了＋日本語教育能力検定試験合格＋登録日本語教員資格)保持。

2025年度 ITコース 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
日本語演習3	1年次	4	山口(美)	火曜2限
	通年			

概要

JLPT合格に向けて、漢字の音と文字と意味チェック、語彙は使い方を含め、いずれも文脈中で理解できるように作業、演習を通して進める。授業毎のディクテーションテストや小テストで自己モニターをし、自律学習につなげる。

到達目標

JLPT合格に向けて、必要な漢字語彙を書ける、読める、意味が文脈でわかることを目標にする。

評価方法

出席率、平常点(確認テスト、小テスト、提出物や発表、授業態度を含)、定期試験を総合的に評価

テキスト

1回で合格！ 日本語能力試験N2 漢字／語彙

参考書

適宜補助プリント、演習問題

前期		後期	
1	漢字2体の一部、身近な自然の漢字①／語彙1章－2生活①	1	漢字16心の動きや働きに関わる①／語彙2章－18カタカナ語①
2	漢字2体の一部、身近な自然の漢字②／語彙1章－2生活②	2	漢字16心の動きや働きに関わる②／語彙2章－18カタカナ語②
3	漢字4地名、時間帯、方角①／語彙1章－4健康①	3	漢字18「竹」その他含む①／語彙2章－20漢字の一部が同じ語①
4	漢字4地名、時間帯、方角②／語彙1章－4健康②	4	漢字18「竹」その他含む②／語彙2章－20漢字の一部が同じ語②
5	漢字6天候、遠さ①／語彙1章－6性格①	5	漢字20「水」に関する①／語彙2章－22意味がたくさんある語①
6	漢字6天候、遠さ②／語彙1章－6性格②	6	漢字20「水」に関する②／語彙2章－22意味がたくさんある語②
7	小テスト及び進度調整	7	小テスト及び進度調整
8	漢字8絵や紙、動物①／語彙1章－8自然①	8	漢字22手の動作に関わる①／語彙2章－24動詞②の①
9	漢字8絵や紙、動物②／語彙1章－8自然②	9	漢字22手の動作に関わる②／語彙2章－24動詞②の②
10	漢字10「目」「日」を含む①／語彙1章－10行事①	10	漢字22手の動作に関わる②／語彙2章－24動詞②の③
11	漢字10「目」「日」を含む②／語彙1章－10行事②	11	漢字24形が似ている①／語彙2章－26形容詞・形容動詞①
12	漢字12「ィ」を含む①／語彙1章－12仕事・会社①	12	漢字24形が似ている②／語彙2章－26形容詞・形容動詞②
13	小テスト及び進度調整	13	小テスト及び進度調整
14	漢字14「木」を含む①／語彙1章－14政治①	14	漢字演習①／語彙2章－14副詞②－①
15	漢字14「木」を含む②／語彙1章－14政治②	15	漢字演習②／語彙2章－14副詞②－②
16	前期まとめ及び進度調整	16	漢字演習③／語彙2章－15副詞②－③
17	前期定期試験	17	後期まとめ及び進度調整
		18	後期定期試験

教員紹介

前職は医学英語論文誌編集職。日本語教師歴14年(うち2年は海外の大学で教鞭を執る。14年のうち並行して6年超は日本語教師養成講座講師経験あり)、多国籍、様々なレベル、ゼロビギナーから超上級まで、相互日本語からビジネス日本語まで、あらゆる方面で日本語教育に従事。関連資格では英語教員資格保持。日本語教師必須資格(4大卒+420時間修了+日本語教育能力検定試験合格+登録日本語教員資格保持)。現在、武蔵野大学留学生別科非常勤講師、日本外国語専門学校インターナショナルコース非常勤講師。

2025年度 ITコース 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
データベース基礎とSQL言語	1年次	4	長野純	火曜3限
	通年			

概要

システム・サーバー上で各種情報を体系的に保存・管理するために使用されるデータベース、その操作に使うSQL言語の基礎を学習する

到達目標

- ・データベースにはどういう特徴があり、どういう構造をしているかがわかる
- ・基本的なSQLを用いてデータベースの構築や保守ができる

受講要件

N3レベル以上

評価方法

授業態度(20%)、出席(30%)、小テスト・課題(20%)、期末試験(30%)□

テキスト

パワーポイントによる説明とPDFファイルを配布

参考書

なし

授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1	データベースの概要 ― 定義と必要性、ファイルシステムとの違い	1	条件文と関数の活用 ― WHEREに使う演算子
2	データベースの概要 ― DBMSについて	2	条件文と関数の活用 ― WHEREに使う演算子
3	データベースの概要 ― RDBMSの概念と主要DBMSの紹介	3	条件文と関数の活用 ― SQLの基本関数
4	リレーショナルデータモデル ― モデル概念	4	条件文と関数の活用 ― SQLの基本関数
5	リレーショナルデータモデル ― テーブル・行・列について	5	JOINとサブクエリ ― JOINの使い方
6	リレーショナルデータモデル ― キーの概念	6	JOINとサブクエリ ― JOINの使い方
7	SQLの概要	7	JOINとサブクエリ ― サブクエリについて
8	SQLの概要	8	JOINとサブクエリ ― コマンドまとめ
9	テーブル作成 ― CREATE TABLEについて	9	トランザクションと同時実行制御 ― ACID原則
10	テーブル作成 ― データ型の紹介	10	トランザクションと同時実行制御 ― COMMIT,ROLLBACK
11	テーブル作成 ― 基本的な制約について	11	トランザクションと同時実行制御 ― 同時実行制御とは
12	CRUD操作 ― INSERT	12	インデックスとパフォーマンス最適化 ― インデックスについて
13	CRUD操作 ― SELECT	13	インデックスとパフォーマンス最適化 ― クラスタ化・非クラスタ化
14	CRUD操作 ― UPDATE	14	インデックスとパフォーマンス最適化 ― チューニング
15	CRUD操作 ― DELETE	15	セキュリティと管理 ― ユーザーアカウントと権限管理
16	CRUD操作 ― WHERE	16	セキュリティと管理 ― SQLインジェクションからの防御
17	CRUD操作 ― WHERE	17	セキュリティと管理 ― データのバックアップ
18	CRUD操作 ― DELETE	18	セキュリティと管理 ― データのバックアップ、その他防御手法
19	CRUD操作 ― コマンドまとめ	19	コマンドまとめ
20	期末試験対策	20	期末試験対策

教員紹介

埼玉県出身。アプリ制作会社にてPHPプログラマー、WEB制作会社にてサーバーエンジニアを経て、現在は経営コンサルタントとして独立。会員1万人超のECサイトや大手コンビニチェーンのキャンペーンサイトの構築経験あり。得意言語はLinux、PHP、MySQL。自分もプログラミング未経験からのスタートでした。一緒に楽しく勉強しましょう！

2025年度 ITコース 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
データベースセキュリティと情報保護	1年次	4	長野純	火曜4限
	通年			

概要

多くの情報が蓄積されるデータベースの保護にはセキュリティ対策をしっかり講じることが重要となる。データベースが晒される危険やそれを防ぐためのセキュリティについて学習する

到達目標

- ・データベースのセキュリティ対策について理解する
- ・情報保護に関する知見を高める

受講要件

N3レベル以上

評価方法

授業態度(20%)、出席(30%)、小テスト・課題(20%)、期末試験(30%)□

テキスト

パワーポイントによる説明とPDFファイルを配布

参考書

なし

授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1	データベースセキュリティの概要 - セキュリティの重要性	1	データの安全性と監査ログ管理 - 完全性とは
2	データベースセキュリティの概要 - CIAの原則の理解	2	データの安全性と監査ログ管理 - 完全性維持技術
3	データベースの脆弱性と脅威要因 - 脆弱性とは	3	データの安全性と監査ログ管理 - 監査ログ
4	データベースの脆弱性と脅威要因 - 内部・外部の脅威要因分析	4	データの安全性と監査ログ管理 - セキュリティ監査システム
5	データベースの脆弱性と脅威要因 - 過去のデータ漏洩事例	5	SQLインジェクション - 概要とそのリスク
6	アクセス制御と認証技術 - DAC/MAC/RBAC	6	SQLインジェクション - 防御方法
7	アクセス制御と認証技術 - ユーザー認証方式	7	SQLインジェクション - 防御方法
8	アクセス制御と認証技術 - 権限管理とセキュリティポリシーの策定	8	SQLインジェクション - 安全なコーディング手法
9	暗号化技術とデータ保護 - データ暗号化の概要	9	バックアップと復旧 - バックアップの重要性と種類
10	暗号化技術とデータ保護 - 主要な暗号アルゴリズム	10	バックアップと復旧 - バックアップと復旧計画策定
11	暗号化技術とデータ保護 - 主要な暗号アルゴリズム	11	バックアップと復旧 - 災害復旧とデータ復旧手順
12	暗号化技術とデータ保護 - 主要な暗号アルゴリズム	12	最新のセキュリティ技術 - AIと機械学習
13	暗号化技術とデータ保護 - データベースにおける暗号化	13	最新のセキュリティ技術 - ブロックチェーンとデータ完全性
14	ネットワークセキュリティ - ネットワーク攻撃の種類	14	最新のセキュリティ技術 - クラウド環境におけるセキュリティ
15	ネットワークセキュリティ - ネットワーク攻撃の種類	15	最新のセキュリティ技術 - クラウド環境におけるセキュリティ
16	ネットワークセキュリティ - セキュリティプロトコル	16	データプライバシーと法規制 - データ保護法
17	ネットワークセキュリティ - セキュリティプロトコル	17	データプライバシーと法規制 - 個人情報保護とコンプライアンス
18	ネットワークセキュリティ - データ転送の保護技術	18	データプライバシーと法規制 - 個人情報保護とコンプライアンス
19	ネットワークセキュリティ - データ転送の保護技術	19	データプライバシーと法規制 - 企業とセキュリティポリシー
20	期末試験対策	20	期末試験対策

教員紹介

埼玉県出身。アプリ制作会社にてPHPプログラマー、WEB制作会社にてサーバーエンジニアを経て、現在は経営コンサルタントとして独立。会員1万人超のECサイトや大手コンビニチェーンのキャンペーンサイトの構築経験あり。得意言語はLinux、PHP、MySQL。データベースの復旧も経験あります、自身の失敗談も交えて楽しい授業にしますよ！

2025年度 I Tコース 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
デジタルコンテンツ制作	1 年次	4	金 守東	水・1限目
	通年			

概要

画像、動画、音声、Webなど多様なデジタルコンテンツの制作方法を学び、ツールを活用して実際に企画から完成まで制作を行う。

到達目標

基本的な制作ツールを使って目的に合ったデジタルコンテンツを企画・制作できるようになる。

受講要件

N3レベル以上

評価方法

授業態度(20%)、出席(30%)、小テスト(10%)、課題(20%)、期末試験(20%)

テキスト

パワーポイントによる説明とPDFファイルを配布による対応

参考書

無し

授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1	デジタルコンテンツとは？	1	YouTubeサムネイルのデザイン実習
2	コンテンツの種類と活用事例	2	動画の書き出し・圧縮とアップロード
3	制作フローと制作ツールの全体像	3	音声コンテンツとは？（ポッドキャスト・ナレーション）
4	デザイン思考とユーザー中心設計	4	スマホマイクと録音環境
5	権利とルール（著作権・引用・フリー素材）	5	Audacityを使った音声編集
6	プロジェクト型学習の進め方とチーム活動	6	AI音声（Voicetext等）でのナレーション生成
7	写真と画像の違い・用途	7	Webデザインとは？仕組みと基本要素
8	Canvaの基本操作	8	HTMLの基本タグ（見出し・段落・リンク）
9	配色とフォントの基礎知識	9	CSSの基本（色・レイアウト・文字）
10	バナー・ポスターの構成要素	10	ノーコードツール（Wix・STUDIO）の活用
11	SNS用画像の制作実践	11	簡単な個人ページ制作体験
12	画像圧縮・形式と解像度の理解	12	画面遷移とユーザー動線の設計
13	図解・インフォグラフィックの作成	13	アイデア出しと企画書作成
14	ビジュアル素材の整理と保存	14	ペルソナ設定とニーズ調査
15	動画コンテンツの種類と目的	15	スケジュール管理と分担決定
16	ストーリーボードと構成案	16	実装①（画像・テキスト素材作成）
17	スマホでの撮影テクニック	17	実装②（動画・ナレーション挿入）
18	CapCutなどの無料動画編集アプリ紹介	18	サイトまたはコンテンツの最終調整
19	動画のカット・文字・音楽追加	19	発表会準備・リハーサル
20	テロップとBGMの挿入演習	20	発表・振り返り・今後の活用法

教員紹介

システムエンジニアとしての現場経験に始まり、30年以上にわたりユーザ企業の情報システム部門で活躍。データ分析やデータベース設計、データ移行のコンサルティングを得意とし、大規模基幹システムの開発プロデュースやディレクションにも多数従事。実務に根ざした指導を行います。

2025年度 ITコース 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
日本語5 【漢字・語彙】	1年次	4	最上和香子	水曜 3限
	通年			

概要

日本語能力試験N2合格に必要な漢字・語彙の習得を図る。漢字の正しい読み・書き方を定着させ、語彙力を高めることにより総合的な日本語力の向上を目指す。定期的に小テストを実施し、理解と定着を図るとともに、日常生活での活用を視野に練習も行う。

到達目標

日本語能力試験N2レベルの漢字・語彙の知識を定着させ、合格を目指す。

受講要件

日本語能力試験N3合格または同等以上

評価方法

定期テスト及び平常点（出席・授業態度・提出物等）
総合的に評価

テキスト

- ・『1回で合格！日本語能力試験N2 漢字』
- ・『1回で合格！日本語能力試験N2 語彙』

参考書

教師作成のオリジナル教材を適宜使用

授業計画 及び 学習内容

前期			後期		
1	【漢字の学習】No.1	【語彙】第1章 語彙を広げる No.1	1	【漢字の学習】No.27-①	【語彙】No.25
2	【漢字の学習】No.3	【語彙】No.1	2	【漢字の学習】No.27-②	【語彙】No.27-①
3	【漢字の学習】No.5	【語彙】No.3	3	【漢字の学習】No.29-①	【語彙】No.27-②
4	【漢字の学習】No.7	【語彙】No.5	4	【漢字の学習】No.29-②	【語彙】No.27-③
5	小テスト 【漢字の学習】No.9-①	【語彙】No.7-①	5	小テスト 【漢字の学習】No.31-①	【語彙】No.29-①
6	【漢字の学習】No.9-②	【語彙】No.7-②	6	【漢字の学習】No.31-②	【語彙】No.29-②
7	【漢字の学習】No.11	【語彙】No.9	7	【漢字の学習】No.33-①	【語彙】No.29-③
8	【漢字の学習】No.13	【語彙】No.11	8	【漢字の学習】No.33-②	進度調整
9	【漢字の学習】No.15	【語彙】No.13	9	小テスト 【漢字の学習】No.35-①	【語彙】No.31-①
10	小テスト 【漢字の学習】No.17-①	【語彙】No.15-①	10	【漢字の学習】No.35-②	【語彙】No.31-②
11	【漢字の学習】No.17-②	【語彙】No.15-②	11	【漢字の学習】No.37-①	【語彙】No.33-①
12	【漢字の学習】No.19	【語彙】第2章 語の働きごとに学ぶ No.17-①	12	【漢字の学習】No.37-②	【語彙】No.33-②
13	【漢字の学習】No.21-①	【語彙】No.17-②	13	小テスト 【漢字の学習】No.39-①	【語彙】No.35-①
14	【漢字の学習】No.21-②	【語彙】No.19	14	【漢字の学習】No.39-②	【語彙】No.35-②
15	小テスト 【漢字の学習】No.23-①	【語彙】No.21-①	15	復習①	
16	【漢字の学習】No.23-②	【語彙】No.21-②	16	復習②	
17	【漢字の学習】No.25-①	【語彙】No.23-①	17	後期 期末テスト	
18	【漢字の学習】No.25-②	【語彙】No.23-②	18	期末テスト FB	
19	前期 期末テスト		19	総まとめ	
20	期末テスト FB	/ 21日目 復習・まとめ	20		

教員紹介

大学にて日本語教育課程主専攻を修了。都内の日本語学校で非常勤講師を経て専任講師に就任。初級から上級までのクラスを担当し、使用教材研究や進学指導にも携わる。外国人技能実習生への日本語指導や、都内日本語サロンで日本文化や日本語の授業を行うなどのボランティア活動の経験有。

2025年度 I Tコース 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
SNSコンテンツ制作自動化	1 年次	4	金 守東	木・1限目
	通年			

概要

AIや自動化ツールを活用して、SNS投稿文の生成、画像編集、スケジュール管理などの業務を効率化する技術を学ぶ。実習を通じて制作の省力化を体験する。

到達目標

SNS運用における作業の自動化手法を理解し、AIを活用してコンテンツ制作・投稿ができるようになる。

受講要件

N3レベル以上

評価方法

授業態度(20%)、出席(30%)、小テスト(10%)、課題(20%)、期末試験(20%)

テキスト

パワーポイントによる説明とPDFファイルを配布による対応

参考書

無し

授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1	SNSとは？役割と進化	1	X・TikTok用画像のレイアウト最適化
2	コンテンツ制作の流れと自動化の必要性	2	自動でサムネイルをデザインする方法
3	自動化とは何か？RPAとAPIの違い	3	ロゴ・アイコン・背景生成の実演
4	無料ツールによるSNS運用事例	4	デザイン評価とAI改善フィードバックの活用
5	自動化とクリエイティビティのバランス	5	短尺動画の流行とAI動画ツール
6	ターゲット設定とカスタマージャーニーの理解	6	CapCutでの自動編集とテンプレート活用
7	SNSコンテンツの種類と配信戦略	7	音楽・字幕・ナレーションの自動挿入
8	投稿スケジュール管理と自動投稿の考え方	8	Lumen5を使った記事→動画変換
9	キャッチコピーとは？生成AI活用例	9	AIナレーション生成ツール（Voicetextなど）
10	ChatGPTによる投稿文の自動生成①（基本文）	10	簡単動画台本生成とシナリオ設計
11	ChatGPTによる投稿文の自動生成②（トーンの調整）	11	SNS動画の投稿最適化とA/Bテスト
12	ハッシュタグの自動提案と流行分析	12	動画コンテンツ評価とAIレポート分析
13	ユーザーの感情を読む投稿設計	13	SNS投稿の自動化ツール比較（Buffer、Hootsuiteなど）
14	キーワードによるリサーチ自動化	14	ChatGPTでの投稿スケジュール自動生成
15	SNSトレンドの収集とAI要約技術	15	投稿後の反応自動収集と可視化
16	自然言語処理(NLP)による要点抽出	16	Googleスプレッドシートで自動集計
17	CanvaとAIデザインの基礎	17	ZapierによるSNS連携ワークフロー構築
18	Canva APIとテンプレート活用術	18	エンゲージメント向上のための自動分析ループ
19	AI画像生成（DALL・E・Bing Image Creator）	19	自動化SNS企画の設計と準備
20	AIでInstagram投稿用画像を作ってみよう	20	発表会：プレゼン＋自動化システム実演

教員紹介

システムエンジニアとしての現場経験に始まり、30年以上にわたりユーザ企業の情報システム部門で活躍。データ分析やデータベース設計、データ移行のコンサルティングを得意とし、大規模基幹システムの開発プロデュースやディレクションにも多数従事。実務に根ざした指導を行います。

2025年度 ITコース 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
ビジネス知識1	1年次	4	村井和博	木曜日 2時限目
	通年			

概要

日本企業で働く際に必要な仕事の基本的知識を学びます。B検3級合格または同程度の知識の取得を図ります。

到達目標

B検3級の合格または同レベルの知識を取得することを目標にします。

受講要件

評価方法

試験、出席状況、受講姿勢を総合的に判断します。

テキスト

2025年ビジネス能力検定ジョブパス
級公式テキスト 3

参考書

授業計画 及び 学習内容

前期				後期			
1	ガイダンス			1	ガイダンス		
2	キャリアと仕事へのアプローチ(1)			2	仕事への取り組み方(1) 定型業務と非定型業務		
3	キャリアと仕事へのアプローチ(2) コンプライアンス			3	仕事への取り組み方(2) PDCA		
4	キャリアと仕事へのアプローチ(3) 会社の基本			4	ビジネス文書の基本(1)		
5	仕事の基本となる8つの知識(1)			5	ビジネス文書の基本(2) 社内文書と社外文書		
6	仕事の基本となる8つの知識(2)			6	ビジネス文書の基本(3) Eメール		
7	仕事の基本となる8つの知識(3)			7	電話対応(1)		
8	仕事の基本となる8つの知識(4)			8	電話対応(2)		
9	コミュニケーションとビジネスマナーの基本(1)			9	統計・データの読み方・まとめ方(1)		
10	コミュニケーションとビジネスマナーの基本(2)			10	統計・データの読み方・まとめ方(2) 表の読み方		
11	指示の受け方と報告、連絡・相談(1)			11	統計・データの読み方・まとめ方(3) グラフの作り方		
12	指示の受け方と報告、連絡・相談(2)			12	情報収集とメディアの活用(1) 情報の取捨選択		
13	話し方と聞き方のポイント(1)			13	情報収集とメディアの活用(2) インターネット		
14	話し方と聞き方のポイント(2) 尊敬語と謙譲語			14	情報収集とメディアの活用(3) 新聞からの情報収集		
15	会社関係での付き合い(1)			15	試験		
16	会社関係での付き合い(2) 冠婚葬祭			16	追試 総チェック		
17	会社を取り巻く環境と経済の基本(1)			17			
18	会社を取り巻く環境と経済の基本(2)			18			
19	試験			19			
20	追試 前期総チェック			20			

教員紹介

メーカーおよびコンサルティング会社にて企画、マーケティング、輸出入業務を担当。その後、日本貿易実務協会講師として企業セミナー、大学、専門学校にてビジネスおよび貿易業務の講座を担当。

2025年度 I Tコース 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
データ分析概論	1 年次	4	金 守東	木・3限目
	通年			

概要

データ分析の基本的な考え方、可視化、統計処理の初歩を学ぶ。Excelなどの身近なツールを使って、身近なテーマで分析を行う。

到達目標

データから意味を読み取り、グラフや表を活用して分かりやすく伝える力を身につける。

受講要件

N3レベル以上

評価方法

授業態度(20%)、出席(30%)、小テスト(10%)、課題(20%)、期末試験(20%)

テキスト

パワーポイントによる説明とPDFファイルを配布による対応

参考書

無し

授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1	データ分析とは何か？	1	平均・中央値・最頻値
2	データの種類と収集方法	2	分散と標準偏差
3	定量データと定性データ	3	相関係数と因果関係の違い
4	データ分析の流れ（仮説→収集→分析→可視化）	4	クロス集計とピボットテーブル入門
5	社会やビジネスでのデータ活用事例	5	正規分布と外れ値のを見つけ方
6	データリテラシーと情報モラル	6	実践：簡単なレポートを作成する
7	Excelの基本操作とセルの扱い	7	Googleスプレッドシートでの分析
8	データ入力と表の整形	8	無料BIツール紹介（Looker Studioなど）
9	並び替えとフィルター機能	9	ChatGPTでのデータ要約・要点抽出
10	数式と四則演算	10	データ可視化の自動化とテンプレート活用
11	基本関数（SUM・AVERAGE・COUNT）	11	データ分析とAIの接点を学ぶ
12	統計関数（MAX・MIN・IFなど）	12	データを活用した意思決定シミュレーション
13	結果の可視化（グラフ作成）	13	テーマ設定と目的の明確化
14	実践：アンケート集計と分析	14	データ収集方法の検討
15	棒グラフと円グラフの特徴	15	データ加工と分析設計
16	折(お)れ線グラフ・ヒストグラム	16	グラフや表を活用した資料作成
17	散布図と相関関係の可視化	17	発表資料とプレゼンの準備
18	複数データの比較と可視化	18	発表とフィードバック
19	グラフのデザインと見せ方	19	振り返りと改善点の整理
20	実践：データからわかることを言語化する演習	20	データ分析を仕事に活かす方法

教員紹介

システムエンジニアとしての現場経験に始まり、30年以上にわたりユーザ企業の情報システム部門で活躍。データ分析やデータベース設計、データ移行のコンサルティングを得意とし、大規模基幹システムの開発プロデュースやディレクションにも多数従事。実務に根ざした指導を行います。

2025年度 ITコース 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
プロジェクト企画と管理	1 年次	4	金 守東	木・4限目
	通年			

概要

プロジェクトの立ち上げから計画、進行、ふりかえりまでの流れを学び、チームでの課題解決やスケジュール管理を体験的に学ぶ。

到達目標

チームで目標を設定し、役割分担・進捗管理・発表を通してプロジェクトを実行できるようになる。

受講要件

N3レベル以上

評価方法

授業態度(20%)、出席(30%)、小テスト(10%)、課題(20%)、期末試験(20%)

テキスト

パワーポイントによる説明とPDFファイルを配布による対応

参考書

無し

授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1	プロジェクトとは何か？	1	コスト（予算）と人員配置の考え方
2	プロジェクトと日常業務の違い	2	チェックリストと見積り演習
3	プロジェクト成功の3要素（QCD）	3	プロジェクト進捗報告の方法
4	プロジェクトのライフサイクル	4	会議(かいぎ)の進め方（アジェンダ・議事録）
5	チームとは？役割とコミュニケーション	5	チーム内の問題解決と対話力
6	成功・失敗プロジェクトの事例研究	6	メール・チャット・報告書の使い分け
7	プロジェクトの目的と目標設定	7	ファシリテーションの基本
8	ステークホルダーとは？利害関係者の把握	8	リーダーとメンバーの役割意識
9	要件定義とは？	9	トラブル対応：納期・品質のズレ
10	顧客ヒアリングと情報収集の方法	10	実践ロールプレイ：進捗会議の模擬体験
11	SWOT分析による現状把握	11	成果物とは？アウトプットの定義
12	課題設定と仮説立案	12	報告書・資料作成のポイント
13	スコープ定義（何をやる・やらない）	13	成果発表のための資料準備
14	WBS（作業分解構成図）の基礎	14	プレゼンの構成と話し方
15	ガントチャートとは？	15	KPTふりかえり手法（Keep・Problem・Try）
16	スケジュールの立て方と調整の工夫	16	チームごとのレビューと評価
17	タスク管理ツール（Backlog、Trello等）紹介	17	チーム企画実践①（テーマ設定・要件定義）
18	クリティカルパスとボトルネック	18	チーム企画実践②（計画・WBS・スケジュール）
19	優先順位づけの方法（マトリクス思考）	19	チーム企画実践③（成果物作成・プレゼン準備）
20	リスクの洗い出しと対応策	20	最終発表と総まとめ

教員紹介

システムエンジニアとしての現場経験に始まり、30年以上にわたりユーザ企業の情報システム部門で活躍。データ分析やデータベース設計、データ移行のコンサルティングを得意とし、大規模基幹システムの開発プロデュースやディレクションにも多数従事。実務に根ざした指導を行います。

2025年度 I Tコース 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
コンピュータリテラシー	1 年次	4	金 守東	水・3限目
	通年			

概要

コンピュータの基本操作、WindowsやOfficeソフトの使い方、情報モラルやセキュリティの基礎など、IT活用に必要な基礎知識を習得する。

到達目標

ITの基本概念を理解し、パソコンの操作や文書作成、インターネットの安全な活用ができるようになる。

受講要件

N3レベル以上

評価方法

授業態度(20%)、出席(30%)、小テスト(10%)、課題(20%)、期末試験(20%)

テキスト

パワーポイントによる説明とPDFファイルを配布による対応

参考書

無し

授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1	コンピュータとは何か？	1	画像や図形の挿入
2	コンピュータの種類と用途	2	表の挿入と編集
3	ハードウェアとソフトウェアの違い	3	ページ設定と印刷プレビュー
4	Windows(ういんどウズ)の基本操作①（ログイン・デスクトップ）	4	レポート形式の書類作成演習
5	Windowsの基本操作②（ウィンドウ・アプリ切替）	5	Excel(えくせる)の基本操作と構成
6	ファイルとフォルダーの管理	6	セルと表の扱い方
7	USB・外部記録媒体の扱い方	7	四則演算と基本関数（SUM・AVERAGE）
8	コントロールパネルと設定画面	8	行・列の操作と並び替え
9	ショートカットキー入門	9	グラフの作成と編集
10	トラブル対処の基本（フリーズ・再起動）	10	相対参照と絶対参照の違い
11	インターネットの仕組みと歴史	11	データのフィルターとソート
12	ブラウザの使い方と検索テクニック	12	表計算を使った家計簿作成
13	メールの基本（送信・返信・添付ファイル）	13	PowerPoint(ぱわーぽいんと)の基本構成
14	インターネットマナーと情報モラル	14	スライド作成とデザインの設定
15	パスワード管理と二段階認証	15	アニメーションとスライドショー
16	セキュリティソフトと個人情報の守り方	16	簡単な発表資料の作成と発表練習
17	Word(わーど)の起動と保存	17	OneDriveとクラウド活用入門
18	文書入力と編集の基本操作	18	ショッピング・行政手続きなどの活用例
19	フォントと段落の書式設定	19	ITの未来とAIの基礎的な理解
20	箇条書きと段落番号、インデント	20	総まとめ：IT社会と活用スキルふりかえり

教員紹介

システムエンジニアとしての現場経験に始まり、30年以上にわたりユーザ企業の情報システム部門で活躍。データ分析やデータベース設計、データ移行のコンサルティングを得意とし、大規模基幹システムの開発プロデュースやディレクションにも多数従事。実務に根ざした指導を行います。

2025年度 ITコース 授業案内

授業科目名	開講年次	単位数	担当者名	曜日・時間帯
日本語演習4	1年次	4	高	金曜日 2時限目
	通年			

概要

日本語能力試験N2の文法及び聴解を学習し、日本語能力を高めていく。

到達目標

日本語能力試験N2に合格できる力を身につける。

受講要件

特になし

評価方法

授業態度・小テスト、定期テストなどを含め、総合的に評価する。

テキスト

日本語能力試験N2文法
日本語能力試験聞くN2

参考書

授業計画 及び 学習内容

前期		後期	
1	文法P14-15、聴解Part1問題1の1-6	1	文法P85-86、聴解Part1問題
2	文法P16-19、聴解Part1問題2の1-4	2	文法P87-90、聴解Part2問題
3	文法P20-23、聴解Part2問題1-4	3	文法P91-92、聴解Part3問題
4	文法P24-27、聴解Part3問題1-3	4	文法P93-96、聴解Part4問題
5	文法P28-29、聴解Part4問題1-10	5	文法P97-98、聴解Part5問題
6	小テスト、文法30-31、聴解Part4問題11-20	6	小テスト、演習問題、聴解Part1問題
7	文法P32-35、聴解Part5問題1-4	7	文法P99-100、聴解Part2問題
8	文法P36-37、聴解Part1問題1の7-12	8	文法P101-103、聴解Part3問題
9	演習問題、聴解Part1問題2の5-8	9	文法P144-147、聴解Part4問題
10	文法P54-57、聴解Part2問題5-7	10	文法P148-149、聴解Part5問題
11	文法P58-61、聴解Part3問題4-6	11	文法P150-151、聴解Part1問題
12	文法P62-63、聴解Part4問題21-30	12	小テスト、演習問題、聴解Part2問題
13	小テスト、文法63-64、聴解Part5問題5-7	13	文法158-159、聴解Part3問題
14	文法P65-68、聴解Part1問題13-14	14	文法P162-163、聴解Part4問題
15	文法P69-72、聴解Part1問題2の9-12	15	文法166-167、聴解問題Part5問題
16	文法P73-76、聴解Part4問題31-40	16	文法170-171、聴解問題Part1問題
17	文法P77-80、聴解Part5問題	17	文法174-175、聴解問題Part2問題
18	文法P81-84、聴解Part1問題	18	演習問題、聴解問題Part3問題
19	期末試験	19	期末試験
20	追試日	20	追試日

教員紹介

大学院で日本文化を専攻し、その後日本企業に勤め、貿易や通訳翻訳業務に携わった。現在日本語指導員、日本語教師として十年以上日本語教育に従事し、分かりやすく、楽しい授業を展開していく。